

- 問1 宮崎県などの温暖な地域で見られる、ビニールハウスや温室などの施設を利用して、本来の時期よりも野菜の栽培時期を早める工夫を何といいますか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)

1. 促成栽培

2. 抑制栽培

3. 近郊農業

4. 露地栽培
- 問2 福岡空港において、訪日外国人の地域別割合で韓国からの利用者が約半数に達するなど、アジア諸国からの利用が特に多い理由として最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)

1. 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため

2. 首都圏に近接しており、日本国内の全ての空港の中で最も滑走路数が多いため

3. 空港周辺に広大な農地が広がり、アジア向け農産物の輸出が中心となっているため

4. 欧米諸国との貿易の拠点として、19世紀から大規模な国際空港として整備されたため
- 問3 鹿児島県において、6月から7月にかけて降水量が著しく多くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)

1. 夏に小笠原高気圧が後退し、冷涼な北東の風である「やませ」が吹き込むことで大気が不安定になるため

2. シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山脈にぶつかり上昇気流を発生させるため

3. 年間を通じて安定した偏西風の影響を受け、瀬戸内海からの湿った空気が継続的に流れ込むため

4. 梅雨前線がこの地域に停滞しやすく、南方からの暖かく湿った空気が供給されやすいため
- 問4 宮崎平野などの冬でも温暖な地域において、ビニールハウスなどを活用して行われる農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

1. 温暖な気候条件を利用して野菜の成長を早め、通常の収穫期よりも出荷時期を前倒しする栽培方法

2. ビニールハウス等を使用せず、その土地の自然な気候周期に従って収穫を行う栽培方法

3. 高冷地の涼しい気候を利用して野菜の成長を遅らせ、出荷時期をあえて後ろにずらす栽培方法

4. 冬の寒さを利用して野菜を凍結保存し、年間を通じて安定した供給を可能にする栽培方法
- 問5 日本の海域における海流の性質と流れについて述べた文のうち、九州の西側から日本海へ向かって流れる暖流の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)

1. 冷たい海水が千島列島付近から南下している

2. 暖かい海水が太平洋沿岸に沿って北上している

3. 冷たい海水がユーラシア大陸沿いに南下している

4. 暖かい海水が南西から北東の方向へ北上している
- 問6 統計資料において沖縄県の観光客数や観光収入が長期的に増加している背景には、地域の産業構造の変化や社会基盤の整備が深く関わっています。その背景を説明したものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)

1. 那覇空港の拡張や大型リゾートホテルの建設といったインフラ整備が進み、国内外からのアクセスと受け入れ体制が向上したこと。

2. 県内全域に鉄道網が細かく張り巡らされ、レンタカーやバスを利用せずに観光地を移動できる交通環境が整ったこと。

3. サトウキビやパイナップルなどの第1次産業の生産を縮小し、すべての労働力を観光産業に集約させる政策が1970年代から徹底されたこと。

4. 製造業による輸出額が観光収入を大きく上回ったことで、その利益が観光地の景観維持に再投資される循環が生まれたこと。
- 問7 九州地方に位置し、阿蘇山周辺や平野部、干拓地などを活かした農業が盛んで、全国トップクラスの農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が多い県はどこですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)

1. 長野県

2. 高知県

3. 熊本県

4. 愛媛県
- 問8 かつて深刻な大気汚染などの公害を経験しましたが、その克服の歴史を活かし、現在はリサイクル産業などを集積させた「エコタウン」事業を推進している地域があります。九州地方の北部に位置し、官営八幡製鉄所の稼働以来、日本の工業を支えてきたこの都道府県はどこですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)

1. 岡山県

2. 福岡県

3. 広島県

4. 兵庫県
- 問9 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

1. カルデラ

2. 扇状地

3. 三角州

4. シラス台地
- 問10 九州地方北部に位置する筑紫平野では、夏に米を、冬に麦を栽培するといったように、同じ耕地で一年のうちに二種類の異なる作物を栽培する農業が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)

1. 促成栽培

2. 二毛作

3. 抑制栽培

4. 二期作
- 問11 九州地方に位置する鹿児島市の気候の特徴を、滋賀県彦根市と比較して説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)

1. 夏と冬の気温の差が小さく、年間の降水量は2000mmを超えており、特に梅雨の時期の降水量が多い。

2. 夏と冬の気温の差が大きく、冬は北西の季節風の影響により、年間を通して降水量が平均的に多い。

3. 最暖月と最寒月の気温差が非常に大きく、1年を通して降水量は彦根市よりも少なく推移する。

4. 年間の降水量が1000mm程度と少なく、夏に雨が集中するため、冬は乾燥した気候が続く。
- 問12 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)

1. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため

2. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため

3. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため

4. 台地の土壌に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため
- 問13 宮崎平野できゅうりなどの栽培に用いられる、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早め、通常の出荷時期よりも前倒して出荷する栽培方法を何といいますか。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. 近郊農業

2. 二毛作

3. 抑制栽培

4. 促成栽培
- 問14 九州地方の筑紫平野では、温暖な気候を生かして、夏に米を栽培した後の水田を利用し、冬から春にかけて小麦などを栽培する農業が行われています。このように、同じ耕地で1年の間に2種類の異なる作物を栽培する農業形態を何と呼びますか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

1. 輪作

2. 二期作

3. 促成栽培

4. 二毛作